

地元に住む当事者の声から…考えてみませんか？

身近な誰かが、苦しい思いをしているかもしれません…

シリーズ② (3月号 P3) では、「ドラマにみるLGBTQ」をとりあげました。ドラマや芸能界では、多様な性が少しずつ認知されてきました。では、身近ではどうでしょう。福岡県内にも、幅広い世代のLGBTQの人たちがいて、職場や学校、地域、外出先で様々な体験をしています。



差別的・不快と感じたエピソードはありますか？



- ・街を歩いている時に「女の子同士で手をつないでいるのはいいけど、男同士はマジキモイ」という会話が聞こえてきたとき。(20代・ゲイ)
- ・「同性愛やトランスジェンダーは病気やろ! 治らんとかね」という発言を耳にした。(50代・バイセクシャル)
- ・職場の飲み会の席で、恋愛や結婚の話になり先輩から「彼氏もないかわいそうなやつ」と笑いながら言われた。この先輩には絶対に相談したくないと感じた。(40代 レズビアン)

配慮を感じた・嬉しかったエピソードはありますか？

- ・職場の上司にトランスジェンダーであることをカムアウトしたとき、自分の性自認を尊重してくれた。(30代・トランスジェンダー)
- ・テレビのニュースで「ご夫婦」ではなく「パートナー」と表現することが多くなってきた。(20代・ゲイ)

- ・レインボーグッズを身に着けていたら「これ、LGBTQの支援を示す奴やろ?」と笑顔で話しかけられて、うれしかった。(50代・バイセクシャル)



こんな言葉を使ったり、聞いたりしたことはありませんか？



ここには同性愛者とかいないよね？

あの人って、男？女？

いつまでも結婚しないけど、そっち系なの？

男女の区分や異性愛を前提として、それ以外の生き方を排除するような社会では、LGBTQの人たちに対する偏見やいじめはなくなりません。

職場や学校・地域、家族や親せきなど、LGBTQの人たちが周りにいるかもしれない…という気持ちを持ちましょう。そして、誰もが安心して生きられる社会をめざしましょう。

(福岡県・RAINBOWガイドブック 令和5年10月発行より一部抜粋)

～4月だんだんカフェ～
 4月20日(土)
 10:00～12:00
 うきは市民センター(図書館)2階
 喫茶あひるの子 カフェスペース隣

**予約不要
 出入り自由**

無料託児有
 (生後4カ月～就学前のお子さま)
 ※1週間前までに要予約。

〈問合せ〉
 男女共同参画センターだんだん
 ☎77-2661

ゆっくりお茶しながらおしゃべりしませんか？

「毎日、何だかつらい」



「だれかと話したい」

〈問合せ〉男女共同参画センター だんだん ☎77-2661